



なぜ、それを信じますか？

でっちあげ

殺人教師と呼ばれた男

綾野剛 柴咲コウ

亀梨和也 / 大倉孝二 小澤征悦 高橋政宏 迫田孝也
安藤玉恵 美村里江 峯村リユ 東野絢香 飯田基祐 三浦綺羅
木村文乃 光石研 北村一輝 / 小林薫

監督：三池崇史

原作：福田ミツヒル『ぐっちゃん』 脚本：殺人教師 事件の真相 (新潮文庫)

脚本：森ハヤシ 音楽：速瀬浩二

企画・プロデュース：和佐野健一 プロデューサー：橋本恵一 坂本龍一 菅田将暉
撮影：山本英夫 (JSC) 班別：小野晃 録音：中村淳 美術：坂本剛
編集：植島直一郎 キャクター・スチール・メイク：前田勇弥 音楽効果：中村佳央
制作プロデューサー：奥野純洋 土川はな 今井明幸 司法監修：尾花重可 司会・資料監修：坂本晃
キャスト・プロデューサー：高橋雄三 音楽プロデューサー：津島玄一 宣伝プロデューサー：三橋剛
監製：倉橋敏夫 制作担当：堀本文郎 俳優担当：平山千尋 企画協力：新潮社
制作プロダクション：東映東京撮影所 OLM 制作協力：東映舎
製作幹事・配給：東映 ©2025『でっちあげ』製作委員会

6.27 FRI

PG-13 13歳未満は保護者の監督のもとで鑑賞可能

真実を疑う物語。

これは真実に基づく、

20年前、日本で初めて教師による児童への虐めが認定された体罰事件。

福田ますみのルポルタージュ『でっちあげ 福岡「殺人教師」事件の真相』を映画化。

三池崇史が監督を務め、綾野剛、柴咲コウ、亀梨和也、木村文乃、光石研、北村一輝、小林薫ら豪華キャストで描く、日常の延長線にある極限状況。

男は「殺人教師」か、それとも……。

「死に方、教えてやろうか」と教え子を恫喝した

史上最悪の「殺人教師」

2003年 小学校教諭・荻下誠一(綾野剛)は、保護者・氷室律子(柴咲コウ)に

児童・氷室拓翔への体罰で告発された。体罰とはものの言いようで、

その内容は聞くに耐えない虐めだった。

これを嗅ぎつけた週刊春報の記者・鳴海三千彦(亀梨和也)が“実名報道”に踏み切る。

過激な言葉で飾られた記事は、瞬間に世の中を震撼させ、荻下はマスコミの標的となった。

誹謗中傷、裏切り、停職、壊れていく日常。次から次へと底なしの絶望が荻下をすり潰していく。

一方、律子を擁護する声は多く、“550人もの大弁護団”が結成され、

前代未聞の民事訴訟へと発展。

誰もが律子側の勝利を切望し、確信していたのだが、

法廷で荻下の口から語られたのは――

「すべて事実無根の“でっちあげ”」だという完全否認だった。

6.27



映画鑑賞は犯罪!
発見したら
www.eigakan.org
0120-550098

X @detchiagemovie ©2007 福田ますみ/新潮社 ©2025「でっちあげ」製作委員会

映画公式HPはコチラ▶

